

[成果情報名]新たに選定された優良乳用供卵牛

[要 約]2024 年度に新たに遺伝的能力評価値の得られた 7 頭のうち 2 頭が新たな優良乳用供卵牛として選定され、供卵牛として利用する。

[担 当]山梨県畜産酪農技術センター・乳肉用牛科・塚田 葉

[分 類]技術・普及

[課題の要請元]

畜産課

[背景・ねらい]

アメリカから導入した高能力牛および輸入受精卵産子由来の娘牛等について能力検定等を行い、その遺伝的能力評価に基づいて供卵牛の選抜を行い、優良乳用供卵牛選定の基礎資料とする。

[成果の内容・特徴]

1. 2024 年度に新たに能力評価された供卵候補牛 7 頭のうち選定基準（総合指数、産乳成分、耐久性成分及び疾病繁殖成分のいずれかが全国 10 段階評価のうち上位 1～3 の評価値のもの：山梨県受精卵移植推進協議会作成）に合致する 2 頭を優良乳用供卵牛として選定された。（表 1）。
2. 選抜した優良乳用供卵牛の特徴（表 2、表 3）
 - H360 は産乳成分+256(評価値1)で産乳能力に優れ、乳代効果も高い。体型形質は、平均点を下回る。
 - H369 は総合指数+2,544(評価値3)、産乳成分+217(評価値2)で産乳能力に優れる。体型形質は、乳用強健性と乳器に優れる。

[成果の活用上の留意点]

1. これらの優良乳用供卵牛から生産される受精卵の採卵予定、交配種雄牛、在庫状況等については常に変動しているので、詳細は畜産酪農技術センター長坂支所まで問い合わせる。

[期待される効果]

1. 選定された 2 頭を加えると、センターでけい養する優良乳用供卵牛は 10 頭になる。これらの供卵牛それぞれの特性をふまえ、次世代においてより良い改良が期待できる種雄牛を選択することで、改良効果の高い受精卵を生産できる。
2. 生産された遺伝的能力の高い受精卵の活用により、県内酪農家牛群の改良が図られる。

[具体的データ]

表1. 選定牛の概要

牛No.	名号	生年月日	分娩月日
H360	ロングヒル モントロス マツセイ レオーネ	R2.5.31	R5.7.19
H369	ロングヒル デューク シュークリアン アクラブ	R4.1.10	R6.3.11

表2. 選定牛の初産成績概要

牛No.	分娩状況			発育(24か月齢)			
	在胎日数	産子状況	分娩難易	体重(kg)	体高(cm)	胸囲(cm)	腰角幅(cm)
H360	272	F1♂	易	538	145	198	47
H369	277	黒和♂	易	600	145	194	51
選定牛2頭平均	275	—	—	569	145	196	49
候補牛7頭平均	280	—	—	543	146	188	50

牛No.	検定成績(305日補正)				体型得点(初産時)				
	乳量(kg)	乳脂(%)	蛋白(%)	SNF(%)	体貌と骨格	肢蹄	乳用強健性	乳器	決定得点
H360	10,748	4.0	3.6	9.2	75	76	78	78	77
H369	9,400	4.3	3.4	8.9	78	77	80	80	79
選定牛2頭平均	10,074	4.2	3.5	9.1	77	77	79	79	78
候補牛7頭平均	8,694	4.1	3.5	9.0	78	79	79	79	79

表3. 遺伝的能力評価値

牛No.	遺伝的能力評価(2024-08)												
	総合 指数	(評価値)	各成分(評価値)						EBV				乳代効果 (円)
			産乳 成分		耐久性 成分		疾病繁殖 成分		乳量 (kg)	乳脂 (%)	蛋白 (%)	SNF (%)	
H360	—*	—*	+256	(1)	—*	—*	+11	(5)	+1,097	-0.02	+0.02	+0.05	+125,738
H369	+2544	(3)	+217	(2)	-29	(10)	-2	(6)	+590	+0.16	+0.10	+0.12	+78,442
選定牛2頭平均	+2544	(2)	+237	(2)	-29	(10)	+5	(6)	+844	+0.07	+0.06	+0.09	+102,090
候補牛7頭平均	+2305	(6)	+123	(5)	+20	(7)	+7	(5)	+361	+0.07	+0.06	+0.09	+47,176

*体型審査時に評価値算出の基準月齢を超過していたため、算出不可

[その他]

研究課題名：優良乳用供卵牛選抜事業
予算区分：県単
研究期間：1993 年度～
研究担当者：塚田葉、志村宏夫、三嶋溪太、内田雄祐